

パソコン用データ管理ソフト
地理情報システム
山守くんLite (GIS)

操作ガイド

Macintosh-地理情報システム山守くんLite (GIS) 起動編
Version 1.0.2

晃洋設計測量株式会社

©Copyright 2012 KOYO PLANNING AND SURVERING. All rights reserved.

★ 目次

1. 手順	1
2. 地理情報システム山守くんLite(GIS)の 認証キーを入力する	2
おまけ.シェルスクリプトで地理情報システム 山守くんLite(GIS)を起動する方法	4

★ はじめに

- 1 地理情報システム山守くんLite(GIS)をMacintosh(以下MAC)で起動させる方法について報告します。
この説明書は地理情報システム山守くんLite(GIS)をMACで動作させる方法を記述したものです。
ただし、MACでの動作を弊社はベータ版として扱い動作は保証しかねます。各自の責任でお願いいたします。
尚、この説明書及びソフトウェアは予告なく変更することがございます。

地理情報システム山守くんLite(GIS)はJAVA言語で開発されているため、JAVAランタイムがインストールされたMACで動作することができます。ただしMACでの動作環境は弊社でも検証していないので、すべての正常な動作は保証できません。MAC OSX バージョン10.8で
[山守くんLite 操作ガイド 施業地図・森林簿読込編 Ver.1.0.0](#) の操作を行うことができましたので、その方法をご紹介します。

既知の問題点

MAC OSX上で動作した場合の既知の問題点は以下の通りです。

テキストボックスが小さく表示され入力できない。→テキストボックスのダイアログをマウスで広げることで改善されます。

図形を書く際に軌跡が表示されない→ポイントを確定した時点でラインが表示されます。

2 必要と思われるもの

3ポイントマウス 右クリックメニューを利用するために必要です。

JAVA6以降のランタイム <http://java.com/ja/download/>からMAC用のランタイムをインストールしてください。

ネットワークカード及びネット接続 地理情報システム山守くんLite(GIS)のライセンス管理はLANカードを利用しています。MACの機種によってはネットワーク環境がない場合、自動的にLANカードの電源がOFFになる場合があります。この場合は地理情報システム山守くんLite(GIS)は起動できません。

★1 手順

1 最新版の地理情報システム山守くんLite(GIS)を

<http://home.koyosvpl.co.jp/dl-yamamori/index.html>からダウンロード

ダウンロードファイルはyamamoriINST20000000.zip(0000はバージョン)

2 zipファイルを解凍

ファイルを解凍し、解凍されたフォルダ内にあるFilesフォルダをMAC上のデスクトップへコピーしてください。

☆ダウンロードした地理情報システム山守くんLite(GIS)のバージョンが

20130109 Ver2.0.1.2bate以前の場合

差分ファイルのページ <http://home.koyosvpl.co.jp/sabun-yamamori/index.html> からこれ以降のバージョンのファイルを順次Filesフォルダへ上書きコピーしてください。

MAC用の起動用ファイルをFilesフォルダにコピー

ダウンロードのページ<http://home.koyosvpl.co.jp/dl-yamamori/index.html>から

山守くんLite For Mac をクリックし、<Daifuku_ForMac.zip> をダウンロードして最新のMAC用の起動用ファイルをFilesフォルダへコピーしてください。

zipファイルは「すべて展開」などで、必ず解凍してからご利用ください。

3 Filesフォルダ内のyamamoriGO.jarファイルをダブルクリックしてください。

以下次頁以降の手順となります。認証キー入力画面が表示されない場合は、

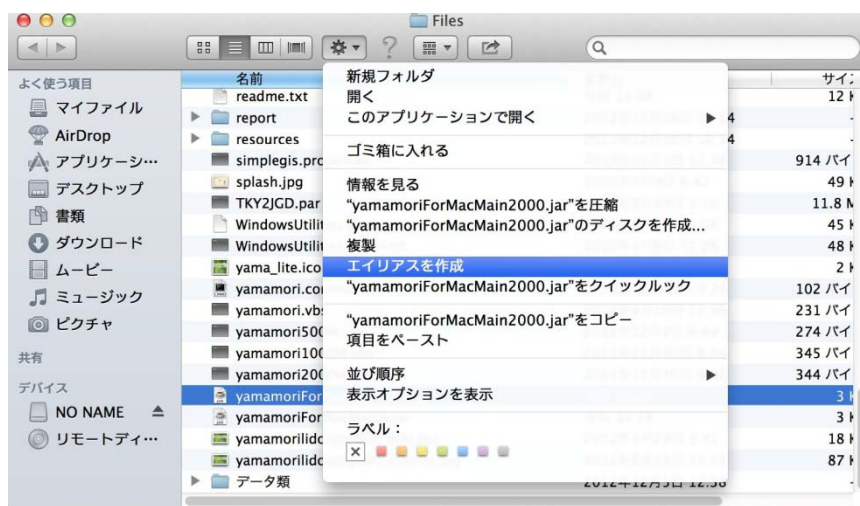
JAVAのインストール及び最新のプログラムに更新されているか確認ください。

LANカードが認識されない場合はその旨のメッセージダイアログが表示されます。

その都度Filesフォルダを開くのが面倒な場合

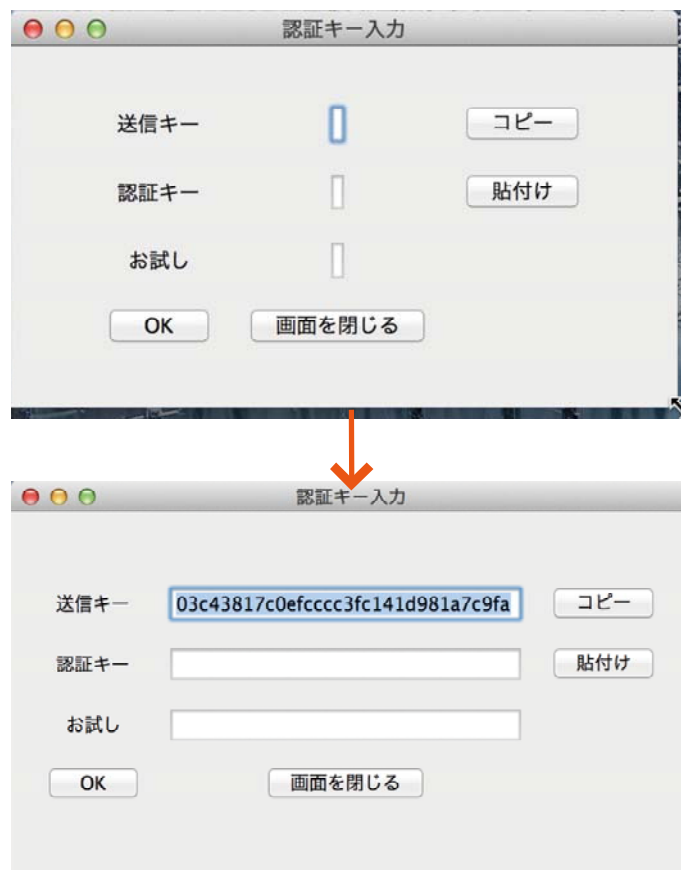
yamamoriGO.jarのエイリアスを作成し、そのエイリアスをデスクトップに貼り付けてください。

以降、デスクトップ上のエイリアスをクリックすることで、地理情報システム山守くんLite(GIS)が起動します。



★2 地理情報システム山守くんLite(GIS)の 認証キーを入力する

- 1 [認証キー入力]ウィンドウを表示した後、下の画像の様に[認証キー入力]ウィンドウを広げます。
ウィンドウを広げますと送信キーが表示されます。



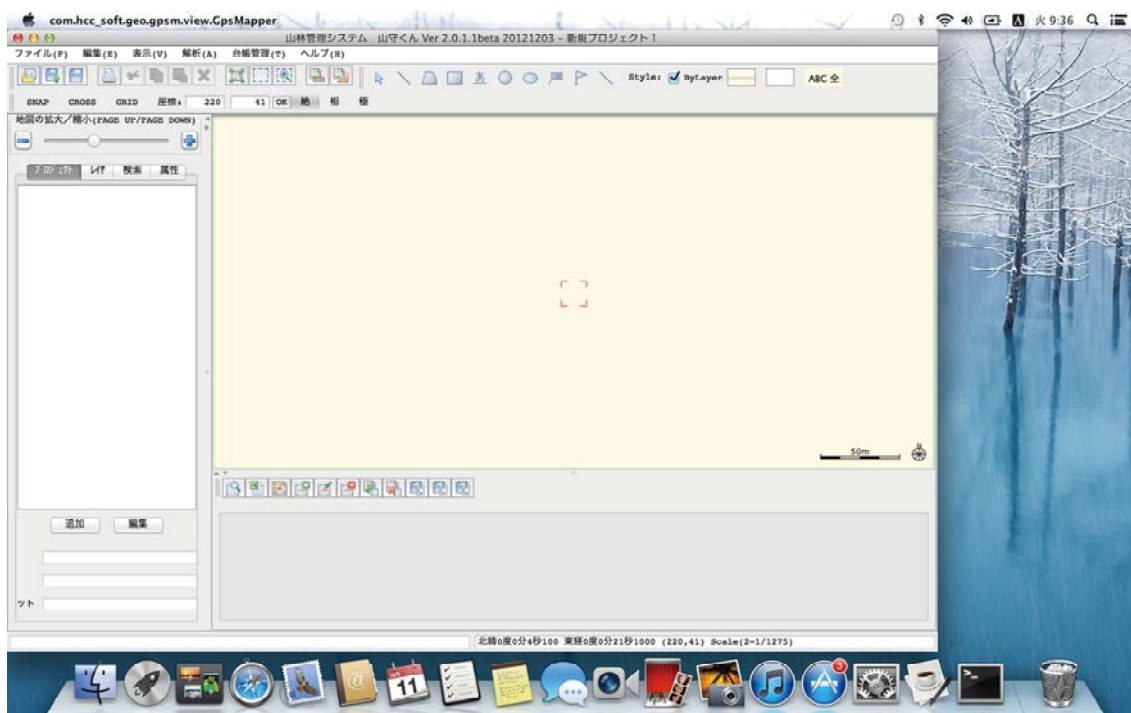
- 2 [認証キー入力]ウィンドウの[コピー]をクリックして送信キーをコピーします。認証キーを弊社で発行しますので、コピーした送信キーを[gis@koyosvpl.co.jp]宛に送信してください。



- 3 弊社から送られてきた認証キーを貼り付けます。貼り付けましたら[OK]をクリックし、[画面を閉じる]をクリックして[認証キー入力]ウィンドウを閉じます。



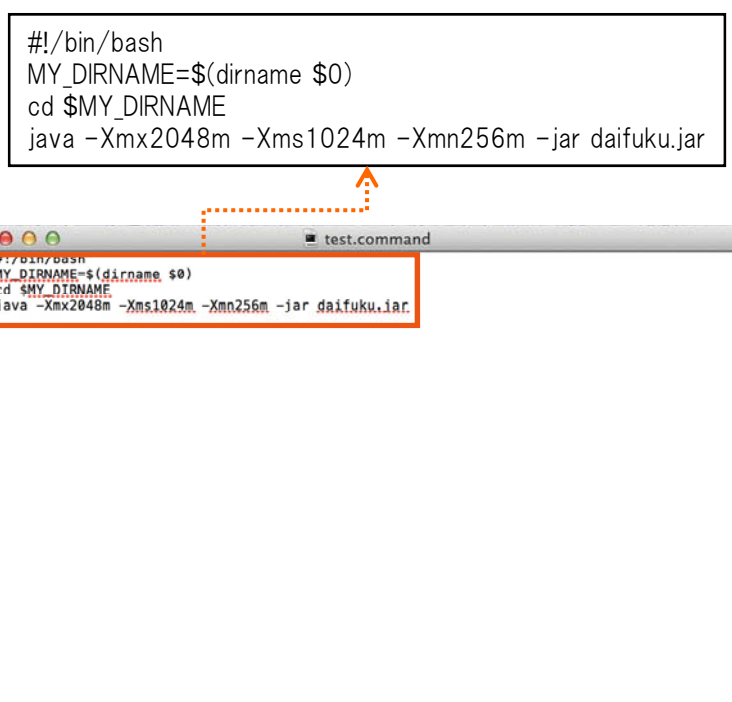
- 4 Filesフォルダ内のyamamoriGO.jarファイルをダブルクリックか、デスクトップ上に作成したエイリアスをクリックすると、画像のように地理情報山守くんLite(GIS)が起動します。



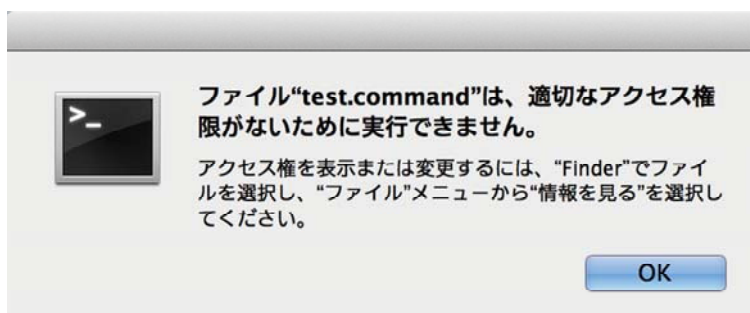
★おまけ シェルスクリプトで 地理情報システム山守くんLite(GIS) を起動する方法

MACではWindowsのようなバッチファイルの代わりにシェルスクリプトという機能があります。
参考までに記載します。

- 1 [Macintosh HD]—[アプリケーション]—[テキストエディット]を開きます。
下記の起動用のシェルスクリプトを入力し、***.commandという名前で保存します。
この場合は[test.command]で保存してあります。



- 2 作成した[***.command]ファイルをクリックすると、下の画像が表示されますので、
[ターミナル]を使ってアクセスの権限を変更します。
[Macintosh HD]—[アプリケーション]—[ユーティリティ]—[ターミナル]で開くことができます。



- 3 [ターミナル]を起動後、cdコマンドで先ほど作成した[test.command]があるフォルダまで移動します。
フォルダのパスが分からない場合は、[cd]と入力した後にスペースを入れて、そこにフォルダのアイコンをドラッグ&ドロップすると、パスの部分が入力されます。

```
例)$ cd /Users/YOURACCOUNT/Desktop/someappdir
```

- 4 chmodコマンドで権限を変更します。下記のコマンドを入力した後、[test.command]を開いて下の画像の[認証キー入力]ウィンドウが表示されれば成功です。

```
例)$ chmod u+x test.command
```

